

医療人材の確保・育成の課題Ⅱ

-連合総研・同志社大学 ITEC 共同研究報告書-

「医療人材の確保・育成に関する研究委員会Ⅱ」

(主 査)	中田 喜文	同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター (ITEC) センター長 同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
(委 員)	田中 幸子	山形大学医学部看護学科教授
	長谷川敏彦	日本医科大学医療管理学教室主任教授
	切東喜久夫	全心会理事長
	小川 忍	公益社団法人日本看護協会常任理事
	伊藤 彰久	連合総合政策局生活福祉局次長
	篠原 國造	ヘルスケア労協事務局長、全済生会労働組合書記長、 連合「医療・福祉部門連絡会」前委員
	鈴木 崇文	自治労総合政治政策局衛生医療局長
(オブザーバー)	宮崎 悟	同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター (ITEC) 特別研究員
	小塩 篤史	日本医科大学医療管理科学教室助教

【役職は研究委員会終了時】

連合総研では、「医療人材の確保・育成に関わる研究委員会Ⅰ」(以下「医療人材Ⅰ」と表記)に引き続き、同志社大学 ITEC との共同で 2009 年 12 月に「医療人材の確保・育成に関わる研究委員会Ⅱ」(主査：中田喜文同志社大学教授、以下本研究委員会と表記)を設置し、2011 年 2 月までに計 10 回開催した。

「医療人材Ⅰ」では看護師を検討対象として医療人材の現状をめぐる問題点を明らかにしたが、これに続く本研究委員会は、「医療人材Ⅰ」の成果を踏まえて、検討対象を医師にも広げ、医療制度改革について発信することを企図し、各委員からの問題提起や講師からの話題提供をもとに議論を行い、報告書をまとめた。

報告書では、医療の将来像を「地域医療・慢性疾患管理システムとそれに必要な急性期医療システム」として掲げ、これを実現するための人材の育成・確保に関わる制度(教育制度、労働条件整備、チーム医療の実現を見据えた制度改革)についての提言を行った。

目次

はじめに

総括

提言

第 1 章 医療人材をめぐる現状と将来分析

第 2 章 地域医療・慢性期疾患管理システムの構築と、それに必要な急性期医療システムの再構築

第 3 章 少子高齢社会における医療人材の適正配置に必要な教育体制等の整備

第 4 章 医療職が適正(ディーセント)な労働・生活条件を獲得するために必要な制度と医療人材確保のあり方について

第 5 章 「チーム医療」推進のための法制度の整備について

【問題提起】

医療現場における高負荷労働の実態と対策 ー医療従事者の安全衛生の観点からー
女性医師について

地域医療における家庭医の役割

「チーム医療：医療過誤訴訟・責任理論から見た医療法制の問題点と提言」

以上